慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	仏国政界の二大勢力
Sub Title	
Author	田中, 萃一郎
Publisher	三田学会
Publication year	1914
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.8, No.2 (1914. 3) ,p.153(27)- 184(58)
JaLC DOI	10.14991/001.19140300-0027
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19140300-0027

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

決を下すにも亦英國に於ける數十年前の實驗を參照せざる可からざるなり。

佛國政界の二大勢力

田中萃一郎

多年佛國の政界を左右したりし急進黨竝に社會主義急進黨の聯合軍は、尨大の極漸く土崩瓦解の勢を呈することゝなりしが、今や目前に總選擧の逼れるを以て、昨十三年十月十六日より十九日まで四日間パウに開ける例年の大會に於て、新に結束を加へカイヨーを擧げて實行委員長となし、朞月にして能く內閣をその手に奪へり。而も大統領レイモン・ポアンカレーはその急進派の聯合軍と相容れず、前內閣議長アリスチード・ブリアンは十二月二十一日選擧區に於て急進派攻擊の濱說を試み、數日の後同志の政客を會して一政黨を起すの議を決したりしが、思ふにこのブリアン等の計畫の背後に潛める大勢力は取りも直さず、大統領ポアンカレーに外ならざる可し。佛國の政界が果して一方に於てはポアンカレーとブリアンとを中心とし、又他方に於てはカイヨーとクレマンソーとを中心として兩分さ

る可きや否やは、容易に之を豫言し難しと雖も、ポアンカレーの人物と佛國最近の政爭とを知るものは、兩派の對總選擧運動が偶然に出でしものにあらざることを了解し得ん。

一

レイモン・ポアンカレーは本年五十五歳、千八百六十年八月二十日を以てバール・デュク市に生れ、兩親共にローレーンの舊家より出でたり。ポアンカレー家は學者を輩出せし名家にして、レイモンの父アントニーは工部大學校に於て名聲を馳せ、後に鐵道水路總監となりレイモンの內閣議長に任せらるゝの前年を以て故人となれり(千九百十一年)。アントニーの同胞ナンシー醫科大學長の子には數學者として佛國の學界を飾りたるアンリあり。昨年四月を以て易簀せるレイモンの母ポアンカレー夫人の實家も亦名家にて、大革命破裂の當時よりGillon家は數々代議士を出したり。七十年の戰役に際し逸話を傳へたる元老院議員Bompardも亦親族なりと云ふ。傳へ云ふフリードリヒ・カール親王の兵を率ゐてバール・ル・デュク市に入るや、ボムパールは時に市長たりしを以て市廳に於て會見せるが、親王偶偶壁上にあまたの勳章を帶びたるナポレオン部下の一將軍の肖像を認めて、この軍人は誰ぞやと問はれしかば、ボムパールは得々として答へて曰く是れ卽ち バール・デュク市に生れ伯林の知事となれる將軍ウーデノーなりと。

レイモン・ポアンカレーの兩親はその子の敎育に注意して遺傳的才幹を發揮せしめたれば、レイモンに二歳の弟たるリユーシアンは父と同じく科學者となり、「近世物理學」「電氣」等の著述あり、今や佛國中等敎育局長たり。レイモンのバール・ル・デュクのリセーにあるや常に首席を占め、十七歳にしてリセーを卒業してbaccalauréat となり、專攻學科を選擇するの必要を感ずるに至れり。父はレイモンを工部大學校に入學せしめて數學者として科學者としてポアンカレー家の名聲を保たしめんと欲せしも、レイモンは寧ろ文藝を修めんとし、巴里のLycée Louis-le-Grand に入學したり。巴里留學中レイモンは鄕愁に惱まされ、獄舍的干涉敎育を厭ひしも敢て學業の荒めるにはあらず、但しlicencié-ès-lettresの學位を得たる後、文學者として世に立たんことを思ひ、詩作に耽りたり。かくてローレン森林の詩人として知ら

るゝ同鄕の André Theuriet を訪ひて之を諮りしに、チユーリエは其決心を讃へしも而も更に語を添へて曰く「兎もあれ安固なる地位を造られよ、作者たるのみにては不可なり、余は詩人なれど又官吏なり、余に倣ひ給へ」と。當時 licencié-ès-lettres に一年志願の途開けたれば、レイモン・ポアンカレーは乃ちナンシーの步兵聯隊に入營して兵役に服したり。服役中も法律の研究と文藝の修養とを怠らず新刊書の如きは歷史小說詩歌經濟等の各方面に亙りて之を耽讀し、且閑を竊みてパール市發行の Echo de l'Est に寄稿したり。行軍中の如き他の僚友の談笑を縱にせるに際しポアンカレーは大冊子をポケットより出して國際法の獨修を事とせりと云ふ、その志操の堅實欽す可し。入營中ドクトルの試問を了り聯隊を去るの時軍曹なりしが次で豫備士官となり遂にアルプ獵兵隊大隊の大尉となれり。

一年志願の服役了つて巴里に歸れる時レイモン・ポアンカレーはチユーリエの忠告を回想して、兎に角地位を造らんとして辯護士會に加盟せり。偶々法律討論會の書記に推され、前大臣デュフオールに對して頌德演說を試み、忽ちにして雄辯家たるの名聲を高うせり。當時は傍ら巴里の新聞ヴオルテーアに法廷記事を寄

稿し極めて多忙の生活を送れるが、遂に政界に入ることゝなれり。卽ち農務大臣ドヴエルは二十六歲の少年ポアンカレーを擧げて祕書官となせり。偶々鄕里ムーズ縣會議員に缺員あり友人の推選によりて候補者となり、爾來二十七年間無競爭にて常に選出せられたり。次で千八百八十七年の補缺選擧に於てムーズ縣のコムメルシ區より選出せられて代議院に入れり。而も議會に入りて口を開かざること二年、豫算問題に關して始めて處女演說を試みたり、而もこの處女演說は陸離たる光彩を放ち、その經濟上の知識の能く演壇上の技倆を辱しめざることを明にせり。豫算問題は極めて無趣味の問題にして、議員を驅て廊下に若くは食堂に走らしむるの常なるが、ポアンカレーの豫算演說は聽衆を魅するの力あり、その一度口を開くや議場は常に滿員の盛觀を呈せり。一日ポアンカレーは將に發言臺の階段を上らんとするに方り一通の電報を受取りたり。披見すれば故鄕ローレーンの邸宅の火災を報じ來れるなり。ポアンカレーは一讀して曰く「今更如何ともする能はず」とて電報をポケットに收め悠々發言臺に上り諄々として國庫の歲出入に關する意見を吐露したり。ポアンカレーはその思想の明敏なるを以て傳

れるのみならず、その人格の修養、常人の到底企及し得ざるものあるなり。

かくてレイモン・ポアンカレーは忽ちにして議會政客中にその手腕を認められ、豫算委員會報告主任に擧げられ、千八百九十三年四月シャール・デュピュイ内閣組織の議起るやポアンカレー入閣の議あるに至れり。而も政客の猜忌嫉妬は恐るる可く、ポアンカレーが財政上の技倆非凡なると顯著なりしより却て之に藏相の椅子を與へざらんとして運動するものあり。ポアンカレーの榮達速なるを見て不快なりと思ふものは、之を適所に置く時は益々その立身を容易ならしむ可しとて文部の椅子を以て之に充てんと運動したり。時にポアンカレー年三十四歳、蓋し第三共和政治に入りてより最年少の大臣たり。而もポアンカレーの榮達を嫉める群小政客にして之によりて以てその立身を阻げ得可しと信じたりとせば、その無識や憫む可し。作曲家グーノーの葬儀に於ける追弔演說はポアンカレーが政治家たり經濟學者たると共に又文藝家たるを示し、その他普通教育に關し、大學制度に關し、又博物館に關する討論に際し、腦力の非凡にして知識の豐富なるを示せり。故に千八百九十四年五月シャール・デュピュイの再び内閣を組織するや、何人も敢てポアンカレーを適所に置くを妨げんとせず、遂にその藏相就任を見るに至れり。但し千八百九十五年一月を以て成立せるリボー内閣に於てはポアンカレーは再び文相となれり。

二

抑も千八百七十一年に選出せられたる國民議會に於ては保守主義者多數を占めしも、オルレアン派と正統派との間に確執ありしが爲王黨員の步調整はず、七十五年に於て共和國體の確立を見るを得たるなり。かゝる形勢なりしを以て、七十六年に新憲法の下に初めて總選擧を行ひし際、代議院に於ては共和黨多數を制せしも、元老院は保守黨の本據となり、八十二年の改選に至るまでは、その勢力を無視することと能はざりき。然るに彼のガムベッタが第二帝政の末路六十九年にベルヴィルに於て發表せる急進的政綱を飽くまで抱持せるクレマンソー等の極左黨は、八十年代の初より急進黨と稱して次第に勢力を增進し來り、共和黨も亦溫和黨一に俗論黨及び急進黨に兩分し、八十五年末の總選擧は保守黨二百人、溫和黨二百

人、急進黨百八十人の結果となりて政界三分し、何れの政黨も代議院に絶對多數を制ずるものなかりき。茲に於てか當時の內閣は或は共和主義兩派の集注政策（コンサントラシヨン）により或は溫和黨と保守黨との妥協政策（アベズマン）によりて組織せられたり。隨て內閣の更迭頻繁にして國家の方針は常に動搖して止まざりき。第三黨の樹立を以て憲政の進步を期し得可しと思ふの輩は、この種の狀態を以て政治の理想と爲せるにや。尤も佛國政界の中心は日一日と左翼に傾き九十年代に入りて社會黨漸く議會內の一勢力たらんとするの勢を呈せるや、急進黨の領袖クレマンソー等は千八百九十二年三月九日社會主義急進黨の新旗幟を飜へして輿論趨勢を迎へんとせり。かくて八十九年より九十五年に至るまでの間に成立せる內閣は何れも溫和黨を中心として共和派の集注を期しポアンカレーの入閣せるヂュピュイ內閣リボー內閣共にこの政策を執りしが、九十五年十一月三日を以て成立せるブールゼォア內閣は純急進黨內閣なりき。但しこの內閣は翌年四月元老院と衝突して仆れ、メリーヌ純溫和黨の內閣を以て之に代り在職二年餘に及びしも九十八年の總選擧の結果ブリッソンの純急進內閣現はれ、更に之に次でヂュピュイ再び集注政策に

より共和主義者の聯合內閣を組織せしも、翌年六月其辭職と共に茲に佛國は全く急進主義者の天下となれり。而して當時新內閣の組織の內命を受けて之を拒みたるポアンカレーの態度は、この形勢を促進せしめたる傾なきにあらざるなり。

初め千八百九十九年六月十二日ヂュピュイ內閣の辭表を捧呈するや、翌日大統領ルーベは慣例に從ひ上下兩院議長を招きて後任內閣に關して協議を遂げしが九十五年以來連年下院副議長に選ばれたる、ポアンカレーも亦その席に列れり。而してポアンカレーは進步黨として知られたるメリーヌ派の領袖たるより、十四日を以て內閣組織の大命を受けたり。然るにサアリヤン等の急進黨員はバルツーの入閣を好まず、かくて交涉破れてポアンカレー十六日を以て內閣組織を辭し、かくてワルデック・ルソー內閣の成立となれるなり。而もポアンカレー等が進步黨の掌裡に政權を收めんとして入閣を拒みしより、ワルデック・ルソーは已むを得ず社會黨員ミルランを閣員に加へ急進黨と一部社會主義者との提携成りて內閣の政策は益左翼に傾けり。かくてポアンカレーは內閣反對の態度を取り、ワルデック・ルソーが九百一年の結社法を以て僧派征伐を行ふや敢て之に反對せり。九百

二年の總選擧に先ち之が準備として政府黨の中堅たる急進黨竝に社會主義急進黨は千九百一年六月巴里に於て第一回の聯合大會を開き爾來十有餘年佛國の政局を左右し來れるがポアンカレーは九百二年三月九日ルーアンに於てメリーヌ竝にリボーの率ゐる進歩黨一に共和同盟の政綱を發表したり。當時ポアンカレーは政府反對の理由を詳論し、吾人は敢て共和政治と自由とを分離せんとする不正なる政策に抵抗せんと欲すと宣言し急進主義者に反對して教育の自由を堅く信奉するものなりと言明し、陸軍大臣アンドレー將軍の陸軍改革案に就て論評を加へ、民衆に媚びて兵役期限を短縮せんとするは不可なりとて政府を非難せり。蓋し二年兵役の議は九百二年二月十五日原則として下院に於て可決せられ、右に關する法案は九百五年三月を以て成立せるなり。ポアンカレーはその法案提出前に反對を明言せしが、今や大統領就任後間もなく三年兵役復舊案を裁可するとゝなれり。扨九百二年の總選擧後コムブ内閣の成立するや、政府の政策は益々左翼に傾き急進主義者と社會黨員とは相提携して教會征伐を事とし、クレマンソーの所謂大同團結（ブロック）全盛の時代となれり。ポアンカレーは九百二年の總選擧に於

ても勿論當選せしも、政府の勢力隆々たるに加へて、選擧區の内情又不快のことありてより、漸くブルボン院の政爭に倦み九百三年二月二十二日鄉里ムース縣より選ばれて元老院議員となれり。爾來數年ポアンカレーは政爭の表面に立たず、共和同盟卽ち進歩黨を脱して席を議會の中央に占めしも敢て政府の施政に對して痛論せず、左黨との感情漸く融和するに至れり。故に屢々入閣の勸誘を受け内閣議長の椅子を以て迎へられしことあるも、常に斷乎として之を拒絶し唯一回千九百六年三月サアリアン内閣に入りて藏相の職に就きたることあるのみ。ポアンカレーは卽ち議政壇を去て法廷の人となり、かくてミルランと共に巴里辯護士中の翹楚と目さるゝに至れり。道路傳へてその收入は年額拾五萬法乃至拾八萬法なりと云へど眞僞は固より知る可からず。著作家文學者等の團體の爲めには無報酬にて辯護の勞を執れることも尠からず、曾て著作家作曲家協會の爲めに數百萬法の要求を提起して勝訴せる時、報酬を受けざりしより協會より純金の食器を贈りたることあり。大統領就任後も辯護士會を脱退せず同會の評議員はエリゼー殿を訪ふて他年一日隱退の際は辯護士會長たらんことを乞へり。ポアンカレー

は又九百九年には佛國學士會院の會員に擧げられしが、佛國大統領にして從來この四十名士のうちに數へられしはチエールありしのみ。

初めコムブに代れるルーヴィエ内閣は九百五年十二月を以て國家教會分離法案を成立せしめ、益々急進主義者の主張貫徹に全力を注ぎしが、扨之を實施するに方りて寛大の措置を執ることを欲せざりしが爲、九百六年三月ポアンカレーの藏相として入閣せるサアリアン内閣の成立を見るに至れる也。但しポアンカレーは同年十月内閣議長と共に挂冠しサアリアン内閣成立の當時より内相として實權を握れるクレマンソー代て内閣議長となり九百五年初夏より西歐の外交界に大波瀾を湧起せるモロッコ問題に輿論の注目を集めて三年に近く内閣の壽命を保てり。而も代議院の議場に於てデルカッセとの一騎打に破れて九百九年七月クレマンソーの失脚するや、曩に分離法案の報告者として政客中に重きを爲し、次でサアリアン内閣に入て文相となり、クレマンソー内閣に留任し九百八年一月更に法相に轉任して内閣副議長となれるブリアン、之に代て内閣議長となり、十月十日南佛の小都會ベリギュー市に於て政綱發表の演説を試み、舊教僧侶に對し慰撫

寛恕の政策を執るの必要を説き共和主義各派の一致團結を主張し、小選擧區制度が地方政客の跋扈を來すことを指摘して、大選擧區連記制度を以て之に代う可しと唱へ、所得稅、養老年金、勞働組合權限擴張等を直ちに實行す可きを約し、終りに臨んで陸軍を擴張して有爲の日に備へざる可からずと論結したり。翌十年勞働者養老年金法成立後、四月二十四日並に五月八日を以て代議院議員の總選擧あり、この際比例代表論者たる社會黨と右黨と相提携せし爲その結果、急進黨百二十四人、社會主義急進黨百三十二人、左翼共和黨七十四人、獨立社會黨二十四人、政府黨合計三百五十四人に對し合同社會黨七十四人、右翼共和黨六十八人、自由行動黨四十一人、王黨四十九人、國民黨九人となり政府黨は約三十の議席を失へり。ブリアンは新議會に於て選擧法を改正して八十八年以來實施し來れる小選擧區を廢し、連記制を採用すると共に少數者代表の制度を加味せんとせしに會々同年十月サンヂカリズムの主義に基ける北部鐵道從業者の大ストライクありブリアンは乃ち當該鐵道從業者三萬人に動員に令を下して之に鐵道の運輸を命じて以て同盟罷工をして失敗に歸せしめたり。之が爲にクリユッピを首領とせる代議院のコム

ブ派は社會黨と共に盛んにブリアンを攻擊し、獨立社會黨のミルラン等又內閣を去りしを以て、ブリアンは一旦內閣改造を試みたりしも、コムブ派は更にブリアンの僧侶派に對する慰撫政策を攻擊し、九百十一年二月遂にその內閣を仆したり。モニを內閣議長とせる新內閣はコムブ派の急進主義者より成り、カイヨーを藏相に擧げて所得稅法の制定を約し、クリユッピを外相として、前內閣の外相ピションが締結せんとしたる幾多の協約を破棄して、モロッコの平和的蠶食を困難ならしめたり。而もモニ內閣はトランの飛行機墜落してモニの重傷を負へるより大打擊を蒙り、更に比例代表反對論者の爲に致命傷を負はされ、同年六月藏相のカイヨー內閣の首班となれり。カイヨー內閣成立後間もなくアガチール事件起りその極十一月四日の協約を以て、佛國は阿弗利加コンゴー地方を獨逸に割讓せるより愛國心尙武熱の勃興となり政府は漸く輿望を失ひ、九百十二年一月元老院の獨佛協約審査委員會席上に於てクレマンソーより皮肉なる質問を受けて遂に辭職の止むを得ざるに至れり。

時にポアンカレーは協約委員會に報告者たりしが、一月十三日外相を兼ねて內閣議長となれり。蓋し曾て首相たりしブリアンは副議長兼法相となり、ブールゼオアは勞働大臣となり、其他デルカッセは海相として留任し、ミルランは入て陸相となり、知名の政客を網羅し得たるを以て人呼で「第三共和政第二の大內閣」と評せり、第一の大內閣とは卽ち千八百八十一年のガムベッタの內閣を指せるなり。ポアンカレーは就任の初は專ら外交事務に忙殺されたり、獨佛協約は二月十日元老院の協贊を經て三月十二日に於て批准を經たる本文の交換を了せり。モロッコに對する保護條約は支丹ムライ・ハフィドとの間に四月一日を以て締結され、代議院は六月十一日之に協贊を與へ佛西協約は十月二十六日を以て締結せられたり。內治の上に於てポアンカレーの殊に盡瘁せるは選擧法改正案にして、六月四日親から代議院に臨みて新に起草せる政府案の大綱を說明し、同十七日より本會議に於て主として之が辯護の任に當り、多少の修正を容れたる後七月十日遂に代議院をして之を可決せしめたり。（本誌第七卷第三號參照）比例代表論者の急先鋒たるシャール・ブノアがポアンカレーの雄辯は武裝せる道理なりと云へるは以て演說の議場を動せし形勢を髣髴たらしむるものあり。ポアンカレーは最も卽席演說

に巧みにして一日五六回演壇に立つてと少しとせず、其外相として東歐問題を說明せる代議院に於ける最後の演說(一九一二年十二月二十一日)は數條の覺書を材料とせるのみなれど半時間以上に亙りて毫も反覆なく流暢に述べありしが、其速記は一辭一句をも訂正せずして官報に於て公にせられたり。而して一時間の後元老院に於て同一の覺書に因り同一問題に就て演說せるが、其結構は全く面目を更め議論は全く順序を顚倒せるが、而も淀みなく雄辯を振ひたり。演說中の妨害はポアンカレーの毫も意に介せざる處にして、曾て內閣議長として政綱の說明中陸軍費に關する部分を朗讀せし際極左黨に一議員あり數々言を挾んで曰く「請負業者の利益を圖らんとするか」と。ポアンカレーは漸くにして之に向て曰く「余が本院を去りしは、九年前のことなれば、不幸にして諸君を悉く知る能はず、故に余を知らざるの諸君に對しては、余は何れの隅よりの發言をも聽き得れば敢て之を反覆するの要なしとの注意を爲さん。而してその發言に答へざるは答ふるの責任なきが爲のみ。君の發言は之を聽けり、余は將に政綱の陳述を繼續せん」と。數分の後大臣中に從來比例代表反對論者ありしことを說きて閣員は時に公益の爲に私見を犧牲に供することありと述べしかば一議員は肩を聳かして疑惑の色を示せり。ポアンカレーは烱眼直ちに之を認めて「我が親しき僚友よ、君も亦この犧牲の苦痛を解するの日なきにあらず」と。而もその議員は議場中にありて陣笠の甚しきものなりしかば滿場は哄笑を以て之を迎へたり。

三

既にして大統領改選の期日は漸く迫れり。ポアンカレーは閣僚レオン・ブールゼオアを推選せしも辭して受けず而してクレマンソーもコムブ派も共にポアンカレーを候補者となすを好まず反對運動行はれしが却てポアンカレーをして大勇猛心を起して十二月二十七日候補者たるを承諾せしめたり。かくて千九百十三年一月十五日急進主義者は上院議員二百五十六人、下院議員四百八十人に案內狀を發し左翼各派連合して大統領候補者豫選會を開きたり。蓋し上院の右黨議員三十人、下院にありては王黨員十九人、自由黨員三十人、進步黨員四十六人は案內を受けざりしなり。而して合同社會黨員七十二人は出席せず、茲に於て先づ投票

を行ひしにポアンカレー百八十票、農相パム百七十四票、上院議長デュボー百七票、下院議長デシヤネル八十三票の結果を得たり。農相パムは則ちクレマンソー等の物色し得たる候補者なりしを以て、デュボーは之が爲め候補を辭し、デシヤネルも亦決選に入るを辭せしかば、更に投票を行ふこと二回にして總數六百四十六票のうちパム三百二十三票、ポアンカレー九票となれり。かくてパムは過半數に及ばざると一票となれるも、而も本選擧に於てその餘の贊成者を得るの望なく、之に反してポアンカレーに對しては進歩黨その他右黨の援助確實なるより、十六日夕左翼各派の領袖は前首相コムブ・モニ・カイヨー・クレマンソー等と共にポアンカレーを訪問し百方辭を盡して候補辭退を勸告したれどもポアンカレーは斷乎として之を峻拒したり。越えて一月十七日ヴエルサイユに於て上下兩院相會して大統領の選擧あり、第一回の投票總數の八百七十二票にして、ポアンカレーは四百二十九票パムは三百二十七票、社會黨の候補者ヴイヤンは六十三票を得、過半數を得たるものなかりしかば、決選投票を行ひしに總數八百七十一票過半數四百三十六票にして、ポアンカレーは四百八十三票、パムは二百九十六票、ヴイヤンは六十九票

を得、ポアンカレーの當選確定せり。反對派は怒號すらく獨裁政治仆す可し、右黨選出候補仆す可しと。大統領の就任式は二月十八日を以て擧行さる可く、ポアンカレーは暫らく靜養せんが爲、一月十八日を以て閣員の總辭職を發表し、同二十一日內閣副議長法相ブリアン、內相を兼ねて內閣議長となり、外相には曾て九百十一年に前ブリアン內閣瓦解の際その慰撫政策に同情してアルジエリー總督を辭せるジョンナール就任せり。

(ハ)上院議員三百人のうち缺員一人、下院議員五百九十一人のうち缺員四人ありて上下兩院議員總計八百九十二人なるが故一回投票に缺席せしは僅に十九人なりき。

ブリアン內閣は、一月二十四日を以て政綱を發表し、下院に於ては七十七に對する三百二十四の多數を以て信任投票を得たり。ブリアンは前年ペリギューの演說に於て聲明せるが如く、慰撫政策を執らんとし、大統領と一身同體たるの觀ありしを以て、コムブ派は勿論との信任投票に際して棄權したり。ポアンカレーは愛國心勃興の機運に乘じて三年兵役制度を復活せんとし閣議之を容れ、かくて三月六日陸相エチアンヌは社會黨員並に三四十の急進黨員の喧囂を極めしうちに於

て三年兵役法案を下院に提出し以て現役兵十四萬四千人、戰時兵力四十五萬人を增加せんとせり。二月十八日新大統領の就任に際し形式的に辭表を提出したりしブリアンは本問題に於て致命傷を負ふを不利なりと認めしにや間もなく選擧法改正問題に於て上院と衝突して挂冠せり。是より先元老院は九百十二年十一月十四日を以て比例代表反對論者の急先鋒たるクレマンソーを委員長とし、選擧法改正案委員を選擧し委員會は少數代表の主義に反對せしかばブリアンは二月三日を以てその會議に臨み少數代表は勿論當選率制度維持の爲に演說を試みたり。既にして三月十三日より元老院の本會議に於て選擧法改正案の議事あり、討議數日に亙り、同十八日內閣議長は二時間の大演說を試みて原案を維持せしも、クレマンソーの駁論あり第壹條代議院議員は連記投票を以て選擧すとあるに對し、ペイトラールより『但し多數主義に從ひ、競爭者より多少數の投票を得たる者は當選者たるを得ず』との但書を加へんとする動議出で、ブリアンの之に反對して信任問題となせしにも拘はらず、この動議は百二十八に對する百六十一の多數を以て成立せり。茲に於てかブリアン內閣は直ちに辭職し、三月二十一日法相バルツー文相を兼ねて內閣を組織したり。外相には曾てクレマンソーの股肱たりしピション擧げられ、藏相には下院急進派副總理シヤアル・チユモン就任せしも、陸相エチアンヌは留任し、工相チエリは進步黨員に屬せしを以て、大體に於てはブリアン內閣の後繼者と目す可きものあり、故に二十五日に發表せられたる政綱は選擧法改正に於て少數代表と多數主義とを調和せんとして當選率制度を放棄し、所得稅法の制定を約し、三年兵役の實施を期し、信任投票に於て百六十二に對する二百二十五の多數を得たり、卽ち棄權者の數約二百名に上れるなり。

四

この二百名の棄權者中にはコムブ派の急進主義者尠からず、五月十八日社會主義急進黨の例年の如く晩餐會を開くやカイヨーは斷然三年兵役制度復興を排斥したり。但し三年兵役法案は約十週間、連日代議院の議事に上りたる後七月十九日二百四に對する三百五十八の多數を以て可決せられたり。合同社會黨のジオーレスは民兵制度を提て爭ひしも六月二十日七十七に對する四百九十六の多數

を以て敗れ、而して三年兵役の原則は七月七日二百二十三に對する三百三十九の多數を得たり、殊に注目す可きは同日兵役の期間は何人も之を同一とすとのヴンサンの修正案の二に對する五百七十四の多數を以て成立せることにて民主々義の勢力ある佛國に於ては一年志願兵制度を排斥せり。次で元老院は八月七日三十七に對する二百五十四の多數を以て三年兵役法を成立せしめ、即日その公布を見たり。茲に於てかコムブを首領とせる急進黨竝に社會主義急進黨の聯合軍は、大に黨勢挽回に努め、十月十六日より十八日まで例年の連合大會をパウに開き、三年兵役制度反對を宣言し、バルツウ内閣に入閣せる黨員を除名し、黨の名稱を合同急進社會主義急進黨と定めカイヨーを擧げて實行委員長と爲せり。蓋しコムブは八十歳に近く、且近來湯藥に親めるを以てこの選擧を必要とせるなり。コムブはクレマンソーと同じく刀圭界より出で而して上院議員として初めて政界に打て出でしが敎會征伐に全力を傾倒せるより『小さな父親』として佛人に親まれしが今や政界より退隱するの已むを得ざるに至れり。之に代れるカイヨーは一八六三年三月三十日の出生にして曾て大藏省の官吏たりしことあり、政治學校敎授たることあり、九十八年代議士となりてより間もなく、ワルデッソ・ルソー内閣に藏相となり更にクレマンソー内閣モニ内閣にも藏相となり、前述の如く九百十一年には内閣議長となり、殊に財政に精通せり。

三年兵役法案成立の翌日を以て休會したる佛國の議會は十一月四日を以て秋季の會期をはじめ、選擧法改正委員會報告者社會黨員グルウシエの動議を容れて選擧法改正案の討議を行ふことゝなれり。抑も選擧法改正案はブリアン内閣顚覆の原因を爲せるが故、バルツーは内相クローッと共に三月二十八日元老院の特別委員會に臨みてその意見を發表せしも、この問題を以て上下兩院の衝突を再びするを欲せざりき。然るに元老院は六月十日の本會議に於て連記投票の主義に依れる委員會の修正案は少數代表の主義より見れば不滿足なるも以て討究の基礎となすを得可しと言明せるを聽き、擧手を以て之が贊否を問ひ直ちに之を可決したり。茲に於て同十三日下院は直ちにこの廻附案を委員に附託したりしが、遂に十一月六日より本會議に於て之を討議することゝなれり。かくて連記投票に併せて少數代表の主義を明記せる第一條は直ちに二百二十に對する三百三十の

多數を以て可決されたり。次で十一日には選擧人に集積投票を許し、當選率を定むるの規定も二百二十二に對する三百三十九の多數を得、カイヨーも比例代表主義に讓歩したり。但し女子に選擧權を與るの動議は百三十三に對する三百十一の多數を以て敗れたり。議會は更に選擧人二萬二千五百人につき一人の代議士を配當するこゝとなして代議士の總數を五百九十七人より五百二十七人に減ずる修正案並に一縣の代議士四分の三以下に減ぜざるときは補缺選擧を行はずとの修正案を容れ、同十八日二百二十五に對する三百三十三の多數を以て全部を議了せり。コムブは書をマタン紙上に寄せて曰く假りに千九百六年の總選擧の場合に於て比例代表制度を實施したりとせんか、急進主義の舊大同團結は二百六十人、溫和黨並に右黨は二百五十九人、社會黨は五十六人の代議士を得、議會に多數黨なく鞏固なる基礎を有する共和主義の內閣組織を見る能はざる可しとて飽くまで比例代表制度に反對せり。但しカイヨーはこの問題に關しては敢て政府と爭はず、得意の財政問題を捉へて立てり。

藏相デュモンは十一月四日を以て千九百十四年の豫算を發表せしが、歲出二十一億四千九百三十二萬圓に對し、歲入十八億三千百七十二萬圓に過ぎず、豫算の不足三億一千七百六十萬圓に上れり。但しこの不足額中一億六千一百六十萬圓は十一年度より十三年度に亙れる三年間にモロッコに於て消費したる分なれば、この分一億六千萬圓は特別公債に依ることゝし、更に千九百十二年度の剩餘金四千八百萬圓を流用し、一億二千萬圓は新稅又は增稅によりて之を補塡せんとせり。

卽ち直稅のうち、宅地、營業、石炭、活動寫眞等の諸稅より一千五百六十二萬二千圓、印紙稅の增率により五千二百十一萬三千五百六十萬圓、間稅にては炭酸水、アブサント、サイダー、電燈、瓦斯、アセチリン瓦斯等より四千六百九十二萬九千六百八十圓を得んとせり。蓋し所得稅法制定、相續稅增率の計畫は會期の終に至て初めて成立す可き順序なれば、之を豫算に計上すること能はずと云へり。而して三年兵役法案實施に要する經費は別に三億六千萬圓を要するを以て、デュモンは之にモロッコ事件費一億六千萬圓を併せて合計五億二千萬圓卽ち十三億法の三朱公債發行の計畫を立てしに、例年と異り各派按分比例に依らずして、カイヨーを首領とせる合同急進黨より一人の委員をも擧げざりし、下院の豫算委員會は十一月二十一日

三億六千萬圓の公債發行をのみ協賛して、モロッコ事件費を公債支辨となすの議を否決したり。而かも政府が之を以て信任問題となすや、代議院は十二月一日の本會議に於て、二百七十に對する二百九十一の多數を以てモロッコ事件費をも公債支辨となすに決せしが、更に新公債課税免除の規定に對し國富の十分の一若くは十二分の一の國債に投資さるゝ佛國に於てこの規定を置くは將に成立せんとする所得税法を無效に歸せしむるものなりとてカイヨーより大攻擊あり、而もバルツーは飽くまでこの規定を維持せるより翌二日の議會に於て二百六十五對二百九十の多數を以て敗れたり。バルツーの閣員を率ゐて議場を去るや社會黨は之を叱咤せしより、バルツーは憤然として之に向て佛蘭西萬歳と唱へ、直ちにエリゼー殿を訪ひて辭表を捧呈したり。

大統領ポアンカレーは慣例に從ひ十二月三日兩院議長並にバルツーと協議を經たる後、元老院議員リボーに内閣組織を託せしが、リボーはカイヨーと會見して援助を得難きを知り之を辭退したり。故に大統領は更に上院議員ジアン・ジュビユイに諮りしにジュピユイは急進黨の同僚ツーメルグより、リユー・ド・バロアを本

據とせる合同急進黨の委員會が溫和派の人を首相に戴くの意なきを聽取し、右の趣を大統領に回答せしを以て、遂に八日に至りてツーメルグの純急進内閣の成立を見るを得たり。ツーメルグは外相の重任を兼ね、カイヨー進んで藏相となり、同じく前首相たるモニは海相となり、獨立社會黨のヴィヴィアンは文相となれり。其他バルツー内閣瓦解の當時大に活動せし豫算委員會報告主任ヌーランは陸相となり、千九百十一年にブリアン内閣を倒したる際奮鬪したりしマルヴィーは商相となりたり。而してブリアンの旨を承けカイヨー黨に反對して「民主社會同志會」を組織し、約百名の代議士を糾合し得たる青年政治家マジノーの陸軍次官となりしは殊に世人の注意を惹けり。新内閣は十一日を以て政綱を議會に説明しカイヨーは前内閣の公債募集計畫は之を遂行せざる可しと聲明し、百四十一に對する三百二の多數を以て信任投票に勝利を博し得たり、次で内閣は先づ豫算を成立せしめ次に臨時軍事費の支辨方法を議し、所得税等の新税目を定めたる後、公債募集額を發表す可しと云へり。蓋し熱心なる三年兵役論者たるクレマンソーが有力なる内閣の後援者たるよりツーメルグも、パウの決議に基きて三年兵役復舊の

方針に出ると能はざるなり。尤も前内閣の内相クローッが十一月二十日を以て元老院に提出したりし選擧法改正案に付ては、十二月十八日代議院に於て、百六十一に對する三百三十の多數を以て、政府をして之が通過に盡力せしむ可しとの動議成立せしも、思ふに握り潰しの運命を免れざる可し。

五

アリスチード・ブリアンはナント市の人にして千八百六十二年の出生なり、初め法律を學び、次でジオーレスと共にリュマニテ新聞を創刊し、社會主義の宣傳に努め、屢々一般同盟罷工の必要を絶叫したり。九百二年初めて選ばれて代議士となり九百六年三月サアリアン内閣に入て文相となりしが爲合同社會黨より除名されたり。九百九年十月ブリアンがペリギューに於て試みたる演説は急進派の團結に龜裂を與ふるの原因となりしが、パウの大會に於て急進派の再び結束して立ち一擧してバルツー内閣を仆しボアンカレーの地位を困難ならしめんとするやブリアンは奮然挺進して同志を糾合して急進派に當らんとせり。而してマジノ

ー等をして組織せしめたる「民主社會同志會」の恃むに足らざるを見るや、十二月二十一日選擧區サンテチアンヌに於て二千の聽衆を集め二時間に近き大演説を試みて、政見を發表せり。時に前藏相デュモン以下五人の前大臣は臨場して氣勢を添へたり。その演説の一節に曰く。

『所謂眞の共和黨は二年兵役制度復舊を決議しました、併し政府は就職の初に方て三年兵役制度を維持するの意志を有することを言明したのであります。又現政府の背後に立てる政黨は選擧法改正に反對であります、然るにヅーメルグ君は前内閣の方針を踏襲し兎に角元老院から選擧法改正案成立に努力す可しとの約束を得ました。何れの場合に於ても空論は責任の試驗に遭ふて粉碎されたのであります。所謂正統共和黨の政綱は唯裝飾に過ぎません。政府は陰謀により除名の脅迫により黨紀の振肅に依て組織されて居るのです。我輩は敢て兵役延長案提出の責任を辭しません、是れ止むを得ざるの必要で、反對論者の執れる外交政策の直接の結果であります。歴史上の事實は事實です、陰謀を好める野心滿々たる人々は、國家多事の際に方ても、佛國の外交政策を危地に陷れることを辭せないのであります。佛國の外交史上最も多事多難の日に方て一派の人々は個人的野心に驅られて歐洲の平和を危うすることさへ辭せず、只管政府を顚覆せんとしたのであります。後にこれらの人々は閣員となりました。交渉中の問題に就ては幾多の協約は成立に近き、之によつてモロッコの開發は平和的に行はるゝ筈であつたのです。

然るにこれらの人々は(ブリアンは明かにモニ、カイヨーの兩内閣を指せるなり)黨派心に驅られて前内閣の方針の取る可き點をも無視したのです。かくて一旦起草された條約は破棄され、蹂躙され、他の協約を作つたのでありました。その第一の結果はアガヂールとなりました。第二の結果は佛國の軍事的モロッコ占領となり伊太利を促してトリポリターンに向はしめました。土耳其の兵力は爲に弱められバルカン戰役は途に破裂しました。この戰爭の結果として列國の關係は一變し獨逸は陸軍を擴張することゝなりました。隨て佛蘭西も勢ひ獨逸に後れをとることの出來ぬやうになつたのであります。自分の外交政策から、時局の發展を招て置て三年兵役論者を非難するのは罪惡であります。(中略)共和國は僧侶排斥主義一天張で立ち行くものではありませぬ、理想を具て政綱を立てねばなりませぬ。財政改革の必要に就ては何人も一致して居りますが佛國には金力政治を好める民衆煽動家があつて狂氣のやうに財政改革を主張し却て實際は之を遲らしてゐます。不正手段で暴に富を得た人々は獰猛な態度で劍を振り翳して富に向つて進みますが、果して富を傷くる積だか又は富を擁護する積だか、疑はしいのであります』。(喝采暫く止まず)

次でブリアンを始として、バルツー、ヂュピュイ、ピション、バウダン、クローツ、ミルラン等は連名を以て上下兩院議員にしてリユー・ド・ヴロアの合同急進黨幹部の頃使に甘んぜざるもの卽ち獨立社會黨、社會主義急進黨並に急進黨の非幹部派民主

社會同志會民主同盟所屬の人々に向て案内狀を發し十二月二十六日の夕を以て協議會を開きたり。會するもの百五人ブリアン、バルツー等を以て委員會を組織して政綱起草の任に當らしめ九百十四年一月二日この委員會は宣言書を起草せしが、新政黨の政綱は教育と宗教の分離を主張し、三年兵役制度を維持し、佛人協同一致の必要を說き、少數代表の主義によりて選擧法を改正するを約し終りに臨んで朝野に訴へて相合同して地方政客の壓抑を脫却せんことを慫慂せり。此の政綱は一月十三日上下兩院召集日の夕を以て、パレイ・ドルセイ・ホテルに於て發表せられ、新政黨の名稱は之を左翼聯合黨 Fédération des Gauches と定めブリアンを推して總理となし、プチート・レピュブリークを以て機關新聞となし、地方新聞の附錄として二十五萬枚を配布するの計畫を以て、一月十八日バルツーはボルドー市の政治演說に於て花々しくその運動を開始したり。來る可き總選擧に於て合同急進黨と左翼聯合黨と何れが勝利を得可きか、從來政黨として最も節制ありしヅウメルグ、カイヨー、ヴイヴイアニ、の現内閣派としてのバルツー、デルカッセ、ピション、ミルラン等の在野黨と何れが將來の政局を左右す

可きか、佛國政界に於ける二大勢力の消長は繫て來る四月二十六日を以て擧行さる可き總選擧の結果如何に在り。

大企業に於ける兼業の發達（一）

氣賀勘重

一

産業上に於ける分業の利益は世人の普く認むる所、而して此利益が一方に於て同一經營の下に從事する勞働者の間に複雜なる作業上の分擔卽ち所謂技術的分業を惹起せしむると同時に、又他の一方に於て從來同一企業の下に行はれたる生産作業の遂行を幾多の獨立せる企業の間に分擔せしむる所謂職業の分岐を生ずるに至らしむるものあるは經濟現象に注意する者の等しく認知する所なり。一切の生産殆ど悉く一家の內に行はれたる自足的家族經濟の狀態より農工商其職を分つの域に達し、農商工亦それ〴〵に幾多の專門業に分るゝに至れるは勿論、一生産物の生産經過も亦幾多の階段に分れて各獨立の職業と爲ると例令ば棉花生産物の生産に於て棉花の耕作、繰綿、紡績、織布、染色、調布、運送竝に販賣等の作業がそれ